

質問紙調査の結果

全国学力・学習状況調査では、教科に関する調査と共に、生活習慣や学習環境に関する質問紙調査も行っています。

質問紙調査には、【児童生徒質問紙】による調査と【学校質問紙】による調査があります。

【児童生徒質問紙】

児童生徒を対象にした、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面などに関する調査

【学校質問紙】

学校を対象にした、指導方法に関する取組や人的・物的教育条件の整備の状況などに関する調査

質問紙調査の結果分析を踏まえ、学校、保護者、地域（市民）が連携して、学力向上をはじめ、生きる力の育成に向けた取組を進めることが大切です。

学びの充実に向けて

—思考力・判断力・表現力を育むために—

P30

基本的な生活習慣

—規則正しい生活をしましょう—

P33

家庭学習

—家庭学習を計画的にしましょう—

P35

自尊意識・規範意識

—子どものこころを育てましょう—

P37

学校・家庭・地域の連携

—つながりを大切にしましょう—

P39

学校の取組の改善

—学校の活性化をめざして—

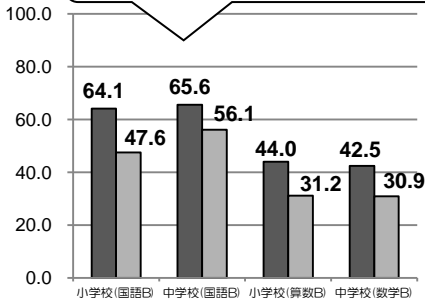
P41

—大阪市の結果から—

児 次の項目に肯定的に回答している児童生徒の方が、正答率が高い傾向にあります。

生

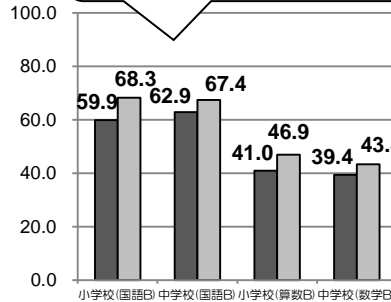
自分の考えを発表する機会がありますか



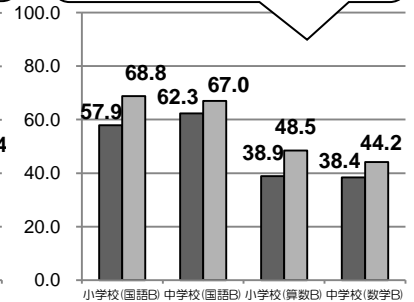
児 次の項目に「難しいとっていない」児童生徒の方が、正答率が高い傾向にあります。

生

400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか



自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか



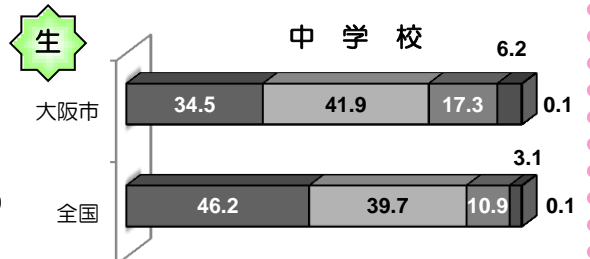
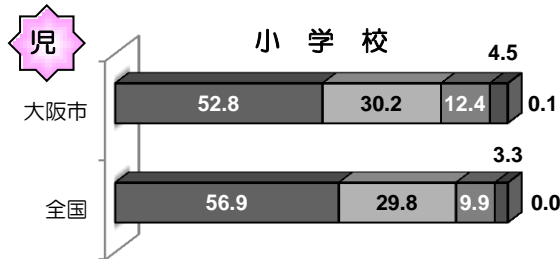
■肯定的回答をした児童生徒の正答率
□否定的回答をした児童生徒の正答率

—全国と比較して—

「自分の考えを発表する機会がある」について肯定的に回答している児童生徒の割合は、全国と比較して低い状況です。

- 当てはまる
- どちらかといえば、当てはまる
- どちらかといえば、当てはまらない
- 当てはまらない
- 他、無回答

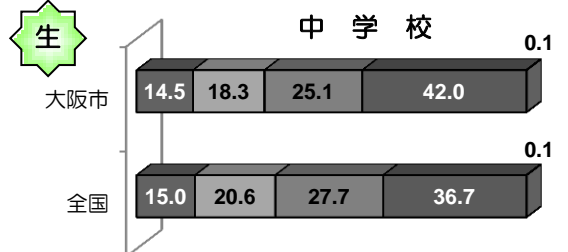
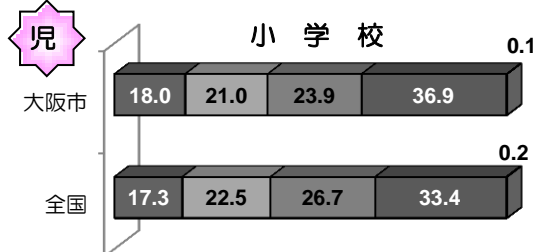
自分の考えを発表する機会がある



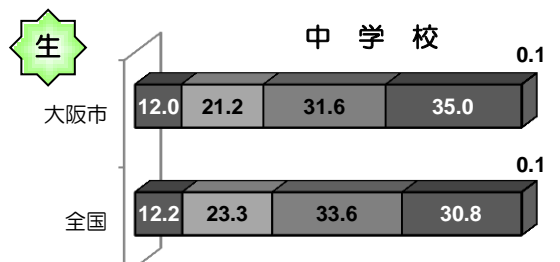
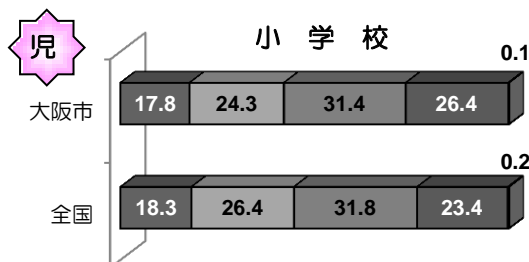
「原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書く」「自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりする」について、「難しいとっていない」児童生徒の割合は、全国と比較してやや低い状況です。

- そう思わない
- どちらかといえば、そう思わない
- どちらかといえば、そう思う
- そう思う
- 他、無回答

400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思う



自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思う



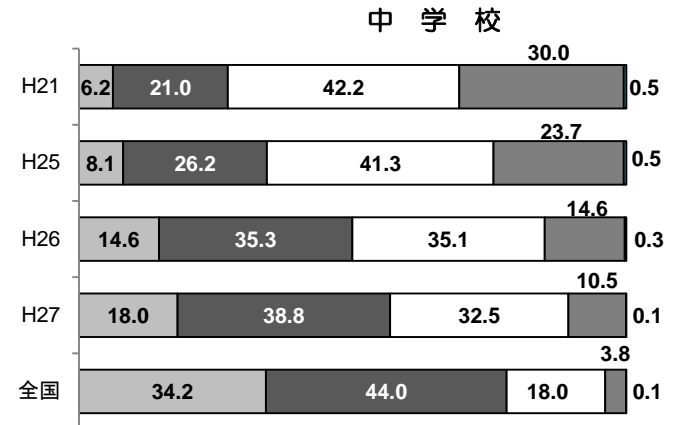
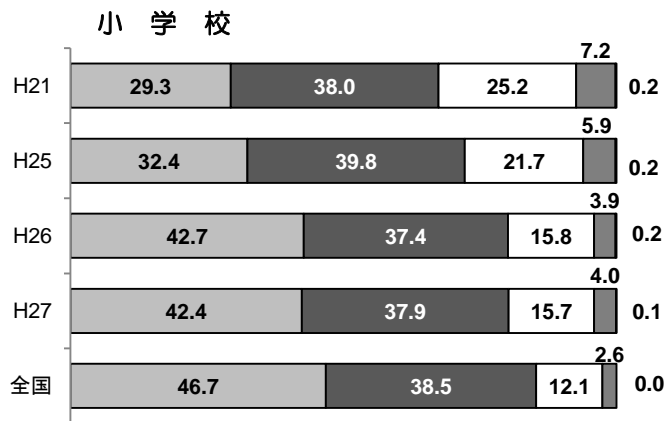
—大阪市の結果から—

「学級やグループで話し合う活動を授業などで行った」について肯定的に回答している児童生徒の割合は年々増加していますが、全国と比較して低い状況です。

- 当てはまる
- どちらかといえば、当てはまる
- どちらかといえば、当てはまらない
- 当てはまらない
- 他、無回答



話し合う活動を授業などで行った

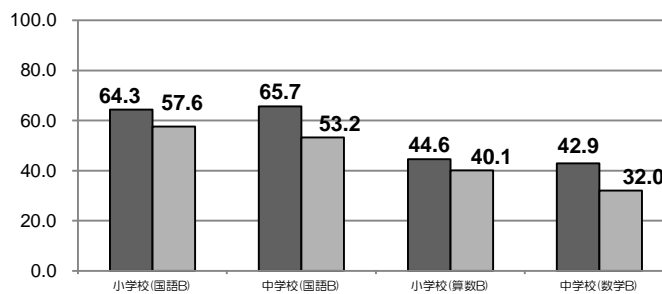


—大阪市の結果から— —全国と比較して〈新規項目〉—

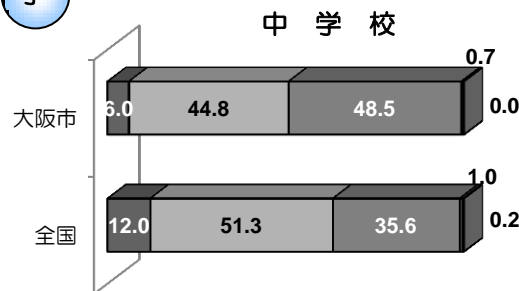
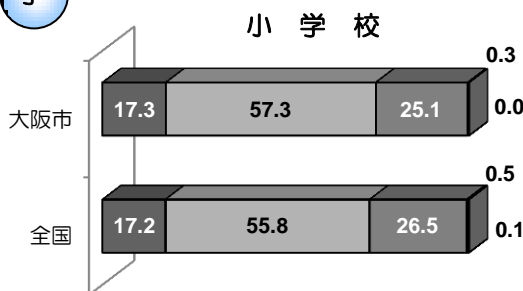
「児童生徒が学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」（新規項目）や「課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れた」の項目について、大阪市では、全国と同様、小・中学校ともに「よく行った」と回答している学校の方が、平均正答率が高い状況があります。

また、その2項目について全国と比較して、小学校で高く、中学校で低い傾向にあります。

課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れた



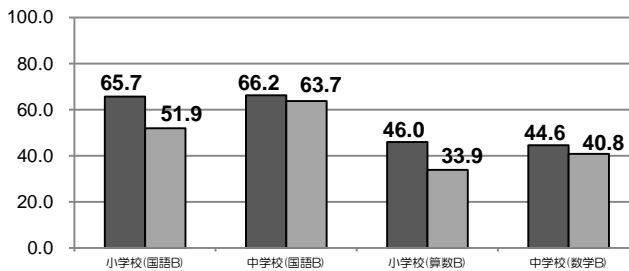
- 肯定的回答をした学校の正答率
- 否定的回答をした学校の正答率



- 当てはまる
- どちらかといえば、当てはまる
- どちらかといえば、当てはまらない
- 当てはまらない
- 他、無回答

学

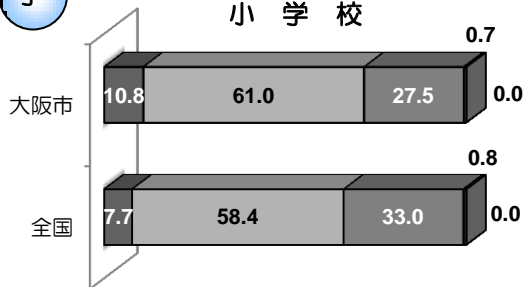
学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる



■ 肯定的回答をした学校の正答率
 ■ 否定的回答をした学校の正答率

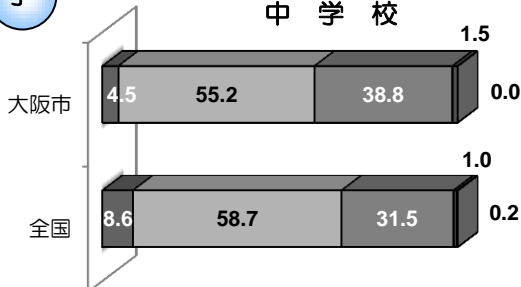
学

小学校



学

中学校



■ 当てはまる
 ■ どちらかといえば、当てはまる
 ■ どちらかといえば、当てはまらない
 ■ 当てはまらない
 ■ 他、無回答

学校で

- 資料などを活用しながら自分の考えを説明する場面や、グループで互いに考えを伝え合ったり、聴き合ったりする場面などを取り入れた授業づくりをさらに進めます。
- 課題解決学習や探究活動を進める際に、ICT 機器を活用するなど、児童生徒の考えを表現するための支援を行います。
- 課題を発見し、その解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習を進めます。



家庭で

- ふだんから新聞やテレビのニュースを見て知った世界の動きや社会情勢などについて、自分の考えを話し合う機会をつくっていきましょう。
- 子どもが興味・関心をもっている話題に対して、「もう少し詳しく教えて」や「どうしてそう思うの」など、話の内容を深めたり、広げたりするような声掛けをしましょう。そういった対話を通して、子どもが考えをまとめ、上手に理由を説明しながら話せるようになっていきましょう。

効果があった取組例

- 国語科の授業で書く活動（メモをする、自分の考えを書く、聞いたことや読み取ったことを短く書きまとめる）に取り組んでいます。
- 朝の会の講話などを、100文字作文としてまとめるなど書く活動を頻繁に行っています。
- 発表用ホワイトボードを活用して、言語活動の充実を図る取組をしています。
- 協働的な学びを中心にして、ICT 機器を活用した授業の工夫を行っています。

大阪市の取組

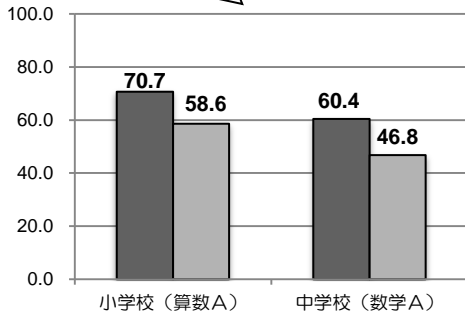
「言語力や論理的思考能力の育成」(P. 44)
 「学習教材データ配信」(P. 45)
 「ICT を活用した教育の推進」(P. 46)

— 大阪市の結果から —

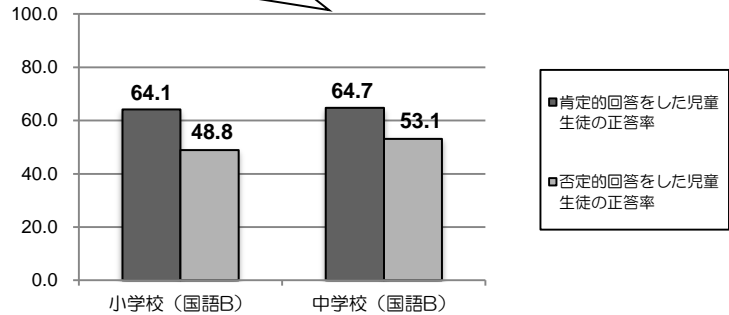


次の項目に肯定的に回答している児童生徒の方が、全ての教科で正答率が高い傾向にあります。

朝食を毎日食べていますか

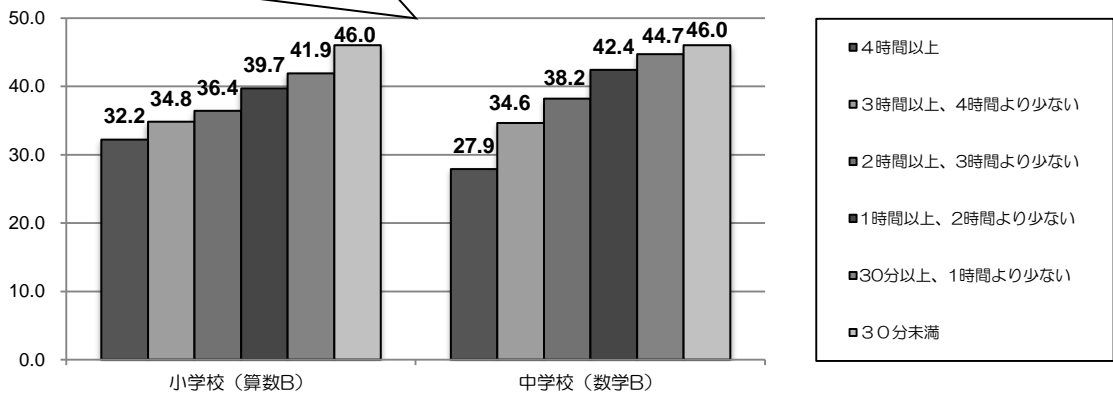


毎日、同じくらいの時刻に起きていますか

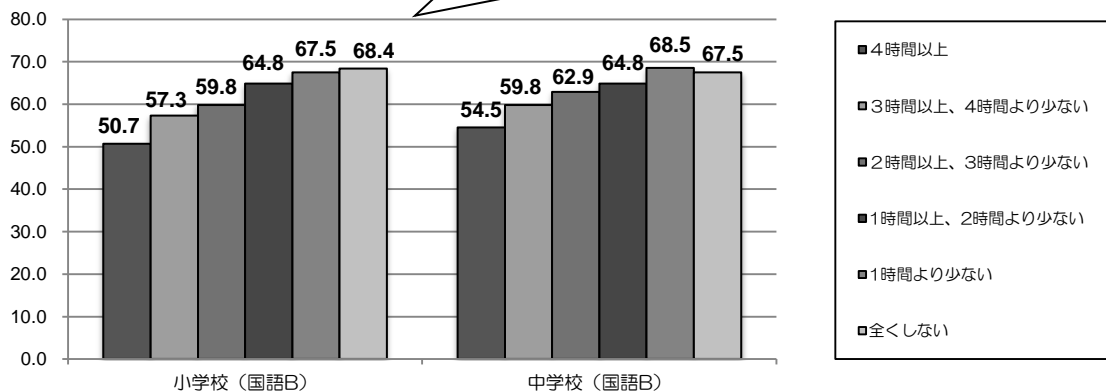


「携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間」「テレビゲームをする時間」が少ないほど正答率が高い傾向にあります。

普段、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか



普段、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか



ー全国と比較してー

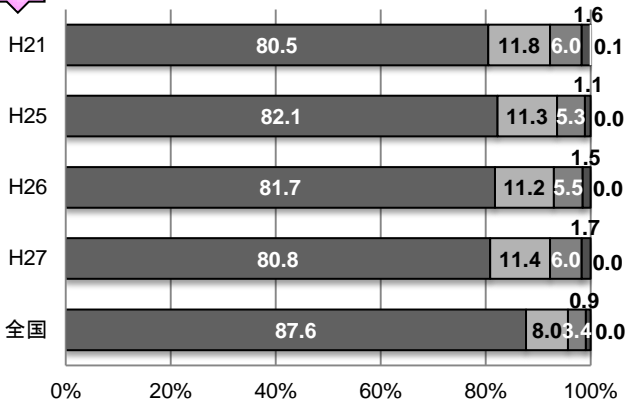
「朝食を毎日食べている」について肯定的に回答している児童生徒の割合は、全国と比較して低い状況です。

朝食を毎日食べている

- している
- どちらかといえば、している
- あまりしていない
- 全くしていない
- 他・無回答

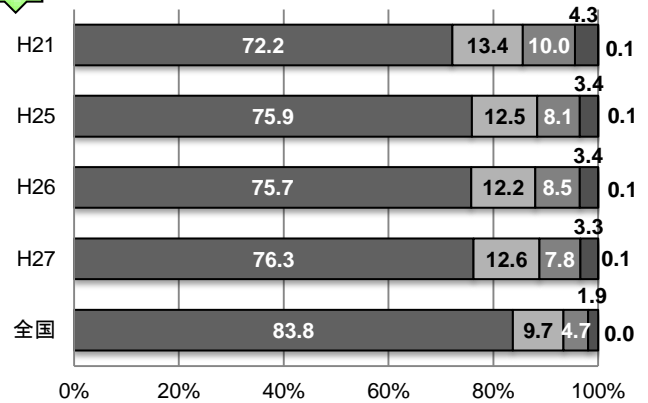
児

小学校



生

中学校



学校で

- ・ 学校全体で、基本的な生活習慣を身につける取組を進めます。(あいさつ、時間を守るなど)
- ・ 学校と家庭で身につけるべき基本的な生活習慣を共有します。(懇談会や学校便りなど)
- ・ 朝食やバランスに配慮した食事の大切さについて指導し、食育の推進を図ります。

家庭で

- ・ 毎日の家庭での生活を子どもと共に振り返りましょう。
- ・ 早寝早起きをし、十分な睡眠時間をとるように心がけましょう。
- ・ 毎日朝食をとり、生活のリズムを整えて、元気な一日のスタートをきりましょう。
- ・ テレビを見る時間・携帯電話やゲームの使用時間など、家庭で相談し、ルールを作ることで、規則正しい生活ができるようにしましょう。



効果があつた取組例

- ・ 懇談会や家庭訪問で、保護者と一緒に学校や家庭での生活を振り返り、規則正しい生活の大切さについて話し合っています。
- ・ 全学年で食に関する指導を計画的に進めることで、健康や食事についての意識の向上を図っています。
- ・ 「笑顔であいさつしよう」を合言葉にあいさつ週間を設けたり、あいさつに関する標語を作ったりしています。
- ・ 学期の始めや終わりには、ホームページや保護者メールを通じて、「持ち物」や「登校時間」などを確認することで、忘れ物や遅刻が減ってきています。
- ・ 具体的な事例を取り上げた情報モラルの取組を、継続して行っています。

大阪市の取組

「幼保小の連携」(P. 50)
「学校キャラバン隊」(P. 52)